**令和６年度事業計画**

方針１　相談支援事業の基本方針

①だれでも気軽に立ち寄り相談のできる環境の整備

②さまざまな部門・施策を横断した総合的な相談支援の実施

③ライフステージの変化に切れ目なく寄り添う支援の実施

④児童の発達にかかる情報を継続的に管理し、適切に支援につなぐ機

能の整備

方針２　児童発達支援事業の基本方針

①子どもと家族の一体的な支援の実施

②発達段階に応じた質の高い支援の実施

方針３　地域支援事業の基本方針

①心身の発達に遅れや障害のある子どもへの支援にかかる地域連携の中核としての機能の整備

②地域まるごとに子育てを応援する環境の整備

相談支援事業

（１）相談支援（基本相談随時）

対　　象：発達に不安や課題のある１８歳未満の児童・家族・地域の支援機関

　　内　　容：子育てや子どもの発達に関する相談、傾聴や助言、関係機関の紹介

　担当職員：保健師・保育士・社会福祉士・指導主事

（２）専門相談

　　対　　象：発達に不安や課題のある１８歳未満の児童・家族・地域の支援機関

　　内　　容：こだわりが強い、極端に不器用等、心理や作業療法に関する専門的な発達相談や、就学、学校生活に関する相談

　　担当職員：医師・心理師等・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士



（３）障害児相談支援（計画相談支援）

　　対　　象：児童発達支援等の障害福祉サービス利用者

　内　　容：児童発達支援等のサービスを利用するための支援計画の作成や手続き支援

　　担当職員：相談支援専門員

　　利用時間：いずれも平日午前９時～午後５時１５分（祝休日・年末年始を除く）

　　利用者負担：なし（専門相談は内容によっては実費負担あり）

○その他相談支援事業

1. オンライン相談支援

外出、対面による感染リスクを避け、在宅での相談支援を充実するもの。

重症心身障害児、医療的ケア児等の外出が難しい児童や中高生等、窓口での相談につながりにくい方や、来所する時間がない方に相談の機会を広げる入口としての活用も見込みます。

ア　オンライン相談

Ｚｏｏｍのビデオ通話サービスを活用し相談支援を行う事業

イ　発達支援事業者等への機材貸出

利用者とのオンライン面談を支援するため、タブレットなどの機材を貸し出す事業

1. 休日相談会

奇数月１回休日相談会を開催します。（１月、２月は教育センターと同時開催予定）

市職員（保健師、保育士、指導主事、社会福祉士）、専門相談員（心理師、作業療法士）が相談対応します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 回 | 月 日 | 受付時間 | 会 場 |
| 1 | ５／２５　（土） | ９時～１６時 | 健康福祉センター |
| 2 | ７／６　（土） | ９時～１６時 |
| 3 | ９／８　（日） | ９時～１６時 | 児童センター |
| 4 | １１／１７（日） | ９時～１６時 |
| 5 | Ｒ７ ／１／１８（土） | ９時～１６時 |
| 6 | Ｒ７ ／２／１５（土） | ９時～１６時 |

③ 就学支援

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 障害のある又はその疑いのある児童の就学に関する支援を行います。  児童発達支援センターの指導主事（学校教育課併任）が一部を担当しており、保育士は就学支援委員会の委員となっています。 |
| 対象 | 障害又はその疑いのある学齢児童生徒及び就学予定者 |
| 件数等 | 主に児童発達支援センター事業を利用する児童を担当 |

　児童発達支援事業

（１）児童発達支援「元気キッズ」

　対　　象：心身の発達に遅れや障害のある未就学児童

　内　　容：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 主な事業内容 | 行事等 | 随時 |
| ４月 | 4/11開始 支援計画策定 |  | ・支援会議 ・モニタリング ・入園相談 ・支援計画策定・更新 |
| ５月 |  |  |
| ６月 | 内科健診・身体測定 |  |
| ７月 |  | 七夕週間 |
| ８月 | 内部研修（8/7～18） |  |
| ９月 | 身体測定 モニタリング（前期評価） 支援計画策定 |  |
| １０月 | 利用意向聴取 | 運動会週間 |
| １１月 | 内科健診 |  |
| １２月 |  | クリスマス週間 |
| １月 | 身体測定 |  |
| ２月 | モニタリング（後期評価） |  |
| ３月 | 修了 | 修了式 ・自閉症啓発デー |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| クラス | 定員/日 | 利用時間 |
| ピンク（重症心身障害児・医療的ケア児等・親子通所） | ５人 | ９：3０～１４：００ |
| みどり（0～2歳・親子通所） | ５人 |
| きいろ（3～5歳・単独通所） | １６人 | ９：0０～１５：００ |
| あお（3～5歳・単独通所） |
|  | ２６人 |  |

　　担当職員：児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、看護師等

利用者負担：所得等に応じた自己負担あり

※満３歳になった後の最初の４月～小学校入学までの３年間は利用者負担が無償。

（２）保育所等訪問支援

対　　象：集団生活への適応に課題のある１８歳未満の児童、施設職員、保護者

　　内　　容：市内保育所（園）・幼稚園、小学校、学童保育室、特別支援学校等への訪問支援

担当職員：訪問支援員

利用時間：月１～２回　平日（１回２～３時間）

　　利用者負担：所得等に応じた自己負担あり

※満３歳になった後の最初の４月～小学校入学までの３年間は利用者負担が無償。

（３）日中一時支援（随時）

対 象：心身の発達に遅れや障害のある１８歳未満の児童

内 容：就学後の継続支援や保護者のレスパイト対応

担当職員：保育士、児童指導員、看護師

利用時間：平日１５：００～１８：００

利用者負担：所得等に応じた自己負担あり

　地域支援事業

（１）家族支援

①　保護者交流会

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 障害を持つ子どもを育てる保護者の孤立を防止するため、保護者同士が集まり、悩みを共有し、情報交換する機会を設けるもの。 |
| 日時 | ９月～１２月に親の学習講座を計画中 |

②　親支援講座（教育委員会共催）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 概要 | 通級・支援級の児童生徒の保護者を支援するため、発達の特性や進路に関する講演を行うもの。 | |
| 日程等 | ７/２９（月） | 配慮を要する児童生徒の登校しぶり・不登校  ～原因と対策、実例をもとに～ |
| ８/３０（金） | 配慮を要する児童生徒の進路～学校の特色の説明～  （埼玉県立狭山緑陽高等学校・日々輝学園高等学校） |
| １０/２３（水） | 児童発達支援事業・放課後等デイサービス  ～療育について～ |
| １１／２０（水） | 埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校見学 |

③　就学を考える会

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 就学先進路の検討材料を提供するため、通級、支援級、支援学校に関する説明会と先輩保護者の経験談を聴く機会を設けるものです。 |
| 対象 | おもに年中児（４歳児）の保護者 |
| 日程等 | 未定 |

　④　きょうだい児支援

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 支援を要する児童のきょうだい児（兄弟姉妹）は、保護者にかまってもらえない寂しさや、それを我慢する辛さ、周囲から期待される負担感、わかってもらえない孤独感などを抱えて悩む場合があると言われます。  きょうだい児支援の取組みはまだ十分ではないことから、オンラインによる動画を配信しきょうだい児支援についての周知を図り、きょうだいが感じる負担や不安を軽減することを目的に実施するものです。 |
| 内容 | オンラインによる配信 |

（２）地域支援

　①　関係機関連絡会

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 顔の見える関係を作り、地域の支援向上の基礎とするため、関係機関連絡会を開催し、情報交換、事例検討会、講演会などを行うもの。 |
| 対象 | 児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援・相談支援事業所、保育所・園、幼稚園、学校、学童保育室、子育て支援拠点等 |
| 日程等 | 未定 |

②　施設支援

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 保護者へのアプローチ、障害福祉サービスに関する情報提供、施設職員への助言、支援などを行うもの。 |
| 対象 | 市内保育所・園、幼稚園など |
| 日程等 | 随時 |

③　ＣＬＭ研修

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 三重県の取り組みである「ＣＬＭ（Check List in 三重）」を紹介し、保育所等の現場職員による発達支援を実践する研修。児童の「気になる行動」をリスト化、対象となる行動を選定、要因と対応策の検討、実施、モニタリングのサイクルでクラス運営を支援するもの。 |
| 対象 | 保育所・園、幼稚園、学校、学童保育、子育て支援拠点、児童発達支援、放課後等デイサービス等、児童の直接支援に携わる施設職員を対象予定。 |
| 日程等 | 国立障害者リハビリテーションセンター学院と共同開催  令和６年１２月８日（日）～９日（月） |

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 小学校との連携の為、実際に公立保育所で行っているＣＬＭ手法の説明と概要説明。教育センターとの連携開催。 |
| 対象 | 市内の小学校1年生担任、または経験の浅い小学校職員 |
| 日程等 | ４月４日（木） |

④　学校への活動

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 中高校生等の相談の受け皿としてＳＳＴ（ソーシャル スキル トレーニング）を取り入れた事業等を行うもの。 |
| 対象 | 入間市内全中学校の１年生を対象 |
| 日程等 | ５月～３月（夏休み・冬休み・春休みを除く） |

　⑤　中高生向け支援

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | 中学生・高校生のためのSST講座　「夏休みSST集中講座」  「学校でうまく人と喋れない」「親と会話するとケンカになってしまう」など、日常の会話で困っていることに対しSSTを通じて、うまく人と会話をするための方法を学ぶもの。 |
| 対象 | 市内中学生・高校生 |
| 日程等 | ７／２３（火）・７／２５（木）・７／３０（火）・８／６（火） |

⑥　休日施設開放

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 概要 | 心身の発達に遅れ又は障害のある児童親子が気兼ねなく遊べる場所がほしいとの市民ニーズに応えるため、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出がままならず、親子のストレスが高まっている場合に安心して遊べる場所を提供するため、週末に児童発達支援センターの施設を開放するもの。 | | |
| 対象 | 心身の発達に遅れ又は障害のある児童とその保護者（各回５組程度） | | |
| 日程等 | 回 | 日時 | |
| １ | ５／２５　（土） | ９：３０～１１：３０ |
| ２ | ７／６　　（土） | ９：３０～１１：３０ |
| ３ | ９／８　　（日） | ９：３０～１１：３０ |
| ４ | １１／１７（日） | ９：３０～１１：３０ |
| ５ | Ｒ７.　1／１８（土） | ９：３０～１１：３０ |
| ６ | Ｒ７.２／１５（土） | ９：３０～１１：３０ |
| 協力 | 見守り、保護者の相談相手などの運営協力を入間市児童センターにお願いしています。 | | |

　⑦福祉教育連携推進研修

　⑧アセスメントスキル向上研修

　⑨福祉教育連携推進体制研究事業

（３）普及啓発

　①　オンライン講演会

発達支援に関する講義などについてＺｏｏｍを用いてリアルタイムでの講義のほか、ビデオ録画し、インターネット上での視聴に供する事業

②　世界自閉症啓発デーに伴うブルーライトアップ

|  |  |
| --- | --- |
| 概要 | ４/２は国連が定める「世界自閉症啓発デー」であり、世界中でランドマークのブルーライトアップが行われる。児童発達支援センターの普及啓発事業として西洋館のライトアップを行います。 |
| 日程等 | ４/２（火）～４/８（月）   * ４/２～４/８の「発達障害啓発週間」を開催期間としました。 |